

さいたま市立中央図書館 ブックリスト

マイナーな外国語から 翻訳された児童書



児童書といえば、英語からの翻訳が大多数のようですが、ポーランド語、オランダ語、フィンランド語、ヘブライ語など、珍しい言語から翻訳されたものも出版されています。その言語が使用されている地域の文化や社会事情を理解する上で、貴重な情報源となっています。

★編集・発行　さいたま市立中央図書館　令和1年11月★

東ヨーロッパ

●ポーランド語からの翻訳

シェンキェヴィッチ「クオ・ヴァディス」上・下

吉上昭三／訳 福音館書店 2000

ムシェロヴィチ「ノエルカ」

田村和子／訳 未知谷 2002

●ハンガリー語からの翻訳

モルナール「パール街の少年たち」

岩崎悦子／訳 偕成社 2015

●チェコ語からの翻訳

エルベン「命の水 チェコの民話集」

阿部賢一／訳 西村書店 2017

●ブルガリア語からの翻訳

ブルガリアの昔話「吸血鬼の花よめ」（日本翻訳文化賞）

八百板洋子／編訳 福音館書店 1996

西・北ヨーロッパ

●オランダ語からの翻訳

アンナ・ウォルツ「100 時間の夜」

野坂悦子／訳 フレーベル館 2017

トンケ・ドラフト「王への手紙」

西村由美／訳 岩波書店 2005

モーレン「かくれ家のアンネ・フランク」

西村由美／訳 岩波書店 2018

●フィンランド語からの翻訳

マルコ・レイノ「クリスマス物語」

末延弘子／訳 講談社 2010

クレンニエミ「オンネリとアンネリのふゆ」

渡部翠／訳 福音館書店 2016

●デンマーク語・スウェーデン語・

ノルウェー語（スカンジナビア諸国）からの翻訳

エヴァ・アスムセン「太陽のくに」

枇谷玲子／訳 金の星社 2010

アニカ・トール「海の島」

菱木晃子／訳 新宿書房 2006

リブ・フローデ「たかが犬、なんて言わないで」

木村由利子／訳 文研出版 2018

ヨーロッパ以外の地域

●ヘブライ語（イスラエル）からの翻訳

ユダヤの民話「お静かに、父が昼寝しております」

母袋夏生／編訳 岩波書店 2015

●ポルトガル語（ブラジル）からの翻訳

デ・ヴァスコンセーロス「ぼくのオレンジの木」

永田翼・松本乃里子／共訳 ポプラ社 2015

●ベトナム語からの翻訳

グエン・ニャット・アイン「つぶらな瞳」

加藤栄／訳 てらいんく 2004

このリストに掲載している図書は、さいたま市立図書館で所蔵しています。貸出や予約（順番待ち）ができます。

さいたま市図書館ホームページ <https://www.lib.city.saitama.jp/>

さいたま市立中央図書館 浦和区東高砂町1-1-1

TEL048-871-2100 FAX048-884-5500

